



『ひらいてとじた 笑顔がふえた』

これは2023年 第65回「こどもの読書週間」の標語です。

「子どもたちにもっと本を!」との願いから、「こども読書週間」は1959年(昭和34年)にはじまりました。もとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年(平成12年)より、現在の4月23日<世界本の日・子ども読書の日>～5月12日の期間に延長しました。

「こども読書週間」は大人にとっても、「良い本や雑誌を子どもたちに手渡すにはどのような努力をしたらよいか」ということについて考える機会でもあります。ぜひ、家庭や学校における読書環境について見直してみてもいいでしょうか。

福岡市では、毎月23日を「福岡市子どもと本の日」としています。

これは、平成13年12月に公布された「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、4月23日が「子ども読書の日」と定められたことに基づいています。国が4月23日を「子ども読書の日」としたのは、ユネスコがイギリスの文豪シェイクスピアとスペインの文豪セルバンテスの命日である4月23日を「世界図書・著作権デー」と宣言したことにちなんでのことだと言われています。

また、4月30日は図書館記念日です

「図書館は無料のサービスである」という当時としては画期的な理念の「図書館法」が昭和25年4月30日に公布されたことを記念して設けられました。

本年度も「こどもの読書週間」の標語のように、子どもたちが『ひらいてとじた 笑顔がふえた』となるように、子どもの読書活動を推進していきましょう。

「新1年生へのおすすめの本リスト」を配布しました

今年度で11回目となりますが、福岡市教育委員会では、小学校・中学校に入学する子どもたちを対象とした「学校の先生たちが選んだおすすめ本リスト」を作成して、各学校にて配布しています。

このおすすめ本は、小学校や中学校の各教科の研究委員会や研究会に依頼し、推薦していただきました。学校図書館では、特設展示コーナーでの紹介や新規購入本の参考にご活用ください。また、各家庭での本選びの参考にしていただければ幸いです。

あなたへのおすすめのほんをしょうかいします!

ここに しょうかいしているのは しょうがっこうの せんせいたちが えらんだ おすすめの ほんです。

おうちのひとや おともだちと たのしくほんを よみましょう!



こくご をえらんだあなたには…

『あいうえおおかみ』
くどう なおこ(作)
ほてはま たかし(絵)
小峰書店

よんだら□にチェックをいれよう

さんすう をえらんだあなたには…

『さんすうサウルス』
ミッシェル・マーゲル(文)
ダグ・クシュマン(絵)
はいじま かり(訳)
福音館書店

よんだら□にチェックをいれよう

おんがく をえらんだあなたには…

『セロひきのゴーシュ』
宮沢 賢治(作)
茂田井 武(絵)
福音館書店

よんだら□にチェックをいれよう

ずがこうさく をえらんだあなたには…

『ゆかいな ゆうびんやさん』
ジャネット&
アラン・アルバーグ(作)
佐野 洋子(訳)
文化出版局

よんだら□にチェックをいれよう

かてい をえらんだあなたには…

『おてつだいの絵本』
辰巳 渚(作)
すみもと ななみ(絵)
金の星社

よんだら□にチェックをいれよう

たいいく をえらんだあなたには…

『むしたちのうんどうかい』
得田 之久(文)
久住 卓也(絵)
童心社

よんだら□にチェックをいれよう

せいかつ (しゃかい) をえらんだあなたには…

『あなたのいえ わたしのいえ』
かこ さとし(文・絵)
福音館書店

よんだら□にチェックをいれよう

せいかつ (りか) をえらんだあなたには…

『じゃぐちをあけると』
しんごう すずむ(作)
福音館書店

よんだら□にチェックをいれよう

中学校の先生たちが選んだ

あなたへのおすすめの本を紹介します!



国語 が好きなあなたに…

100年無敵の勉強法

鎌田 浩毅(著)
筑摩書房

社会 が好きなあなたに…

地図帳の深読み

今尾 恵介(著)
帝国書院編集部(監修)
帝国書院

数学 が好きなあなたに…

数の悪魔
算数・数学が楽しくなる12夜

エンツェンスベルガー(著)
ベルナー(絵)
丘沢 静也(訳) 晶文社

理科 が好きなあなたに…

**いのちのふしぎが
おもしろい!
すごい植物図鑑**

稲垣 栄洋(監修)
カンゼン

音楽 が好きなあなたに…

**さよなら
ドビュッシー**

中山 七里(著)
宝島社文庫

美術 が好きなあなたに…

**若き芸術家たちへ
ねがいは「普通」**

佐藤 忠良・安野 光雅(著)
中公文庫

保健体育 が好きなあなたに…

**トップアスリートが
教える子どものための
スポーツのすすめ**

子どもスポーツ編集委員会(著)
講談社

技術 が好きなあなたに…

**アイデアふくらむ探検ウォッチ
マイクロビットで
プログラミング**

倉本 大資(著)
子供の科学(編集) 誠文堂新光社

家庭 が好きなあなたに…

**キャラで図解!
栄養素じてん**

牧野 直子(監修)
松本 麻希(イラスト)
新星出版社

英語 が好きなあなたに…

**英語で話せる
日本図鑑
増補・改訂版**

永岡書店編集部(編集)
永岡書店

この他にもおすすめの本は、福岡市教育委員会のホームページで見ることができます

福岡市 おすすめ本



本の帯を使った4・5月の掲示

春を連想する色はどんな色でしょうか？それぞれ違うとは思いますが、やわらかい色、温かい色が多いのではないのでしょうか。図書館もそんな色で彩ってみましょう。先の丸いもので、花びらの周りをなぞると花びらが起き上がります！



帯でたくさんの花を作りました！中しんはティッシュです。



人ものこと

樋口 一葉 (1872.5.2~1896.11)

14歳のとき歌人・中島歌子の歌塾に入門し、和歌を学びました。その後「文学界」の投稿者となり、『たけくらべ』が1896年「文芸倶楽部」に一括掲載されると森鷗外や幸田露伴らに絶賛されました。肺結核となり、24年の生涯を閉じましたが、代表作には「大つごもり」「にごりえ」「十三夜」などがあります。

瀬戸内寂聴 (1922.5.15~2021.11)

子どものころは体が弱く、本を読むのが好きでした。1950年離婚後、小説家を目指しました。新潮同人雑誌賞、女流文学賞を受賞し、作家としての地位を確立しました。51歳のとき、出家したあとも執筆活動を続け、谷崎潤一郎賞を受賞し、その後、文化勲章を受賞しました。2021年99歳の生涯を閉じました。

相田 みつを (1924.5.20~1991.3)

毎日書道展に1954年から7年連続入選し、技巧派の書家として出発しました。1950年に栃木県芸術祭書道中央展に出品した「宿命」では、伝統的な書道界に対する複雑な思いを詩文書の形で表し「書」と「詩」の融合を目指すようになり、三十歳のころ、独特の書体で、短く平易な自らの言葉を書く作風を確立しました。

こどもの日 (5月5日)

国民の祝日で、こどもの人格を重んじ、幸福を願う日です。1951年制定の「児童憲章」には、「児童は、人として尊ばれる。児童は社会の一員として重んぜられる。児童は良い環境の中で育てられる。」と宣言されています。

愛鳥週間 (5月10日~16日)

アメリカにならい、1947年に5月10日を「バードデー」とし、1950年にこの日から1週間を「愛鳥週間」としました。この時期は渡り鳥が飛来する時期でもあり、多くの野鳥を見ることができます。現在日本で確認されている野鳥は約600種とされています。

「旅の日」とは・・・ (5月16日)

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」と松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出た1689年5月16日(旧暦3月27日)を記念して、日本旅のペンクラブが制定。忙しい毎日ですが、「旅」について思いを巡らせてみませんか。

4月は、さまざまな「新しい出会い」のはじまりです。子どもも、ワクワクドキドキの日、ちょっと不安な日と、子どもたちも落ち着かない毎日だったことでしょう。そんな子どもたちのために、学校や御家庭で「読み聞かせ」をしてみたいはいかがでしょうか。

大人も子どもも、ほっと一息優しい気持ちになれると思います。

【須藤】

図書館員のひみつの本棚 第 204 回

今月は、とっても身近なものについての絵本をご紹介します。

『このかみなあに? : トイレtpaperのはなし』

谷内 つねお／さく 福音館書店 2020年 ¥1500(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生★☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

誰でも毎日必ず使うトイレtpaper。そんなトイレtpaperの特徴を、簡単な言葉と写真で表現した絵本です。「のびる」特徴では、子ども達が校庭でトイレtpaperを伸ばしている写真があったり、「水を吸う」特徴では、色水を吸わせた写真があったり、パッと見てわかりやすく、子どもの興味を引く絵本です。

<子どもに手渡す時のポイント>

とにかく身近にあるものなので、子ども達の興味は引きやすい絵本です。文章が非常に短く、短時間で読み聞かせることができますが、写真のインパクトは大きく、印象に残ります。

中学年以上になると、自分で読むには簡単すぎるかもしれませんが、SDGsへの導入として使うことができそうな本です。巻末には「トイレtpaperのひみつ」として、Q&A形式で詳細な解説もついており、トイレtpaperの原料から古紙やリサイクルの話題、サイズからJIS規格の話題、と広がっています。他にも、国による習慣の違い、需要と供給の話など、工夫すれば様々な話題につなげていくことができます。

(解説の終わりに、「撮影に使用したトイレtpaperは、使えるところは極力再利用しました」という一文も入っています)



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。